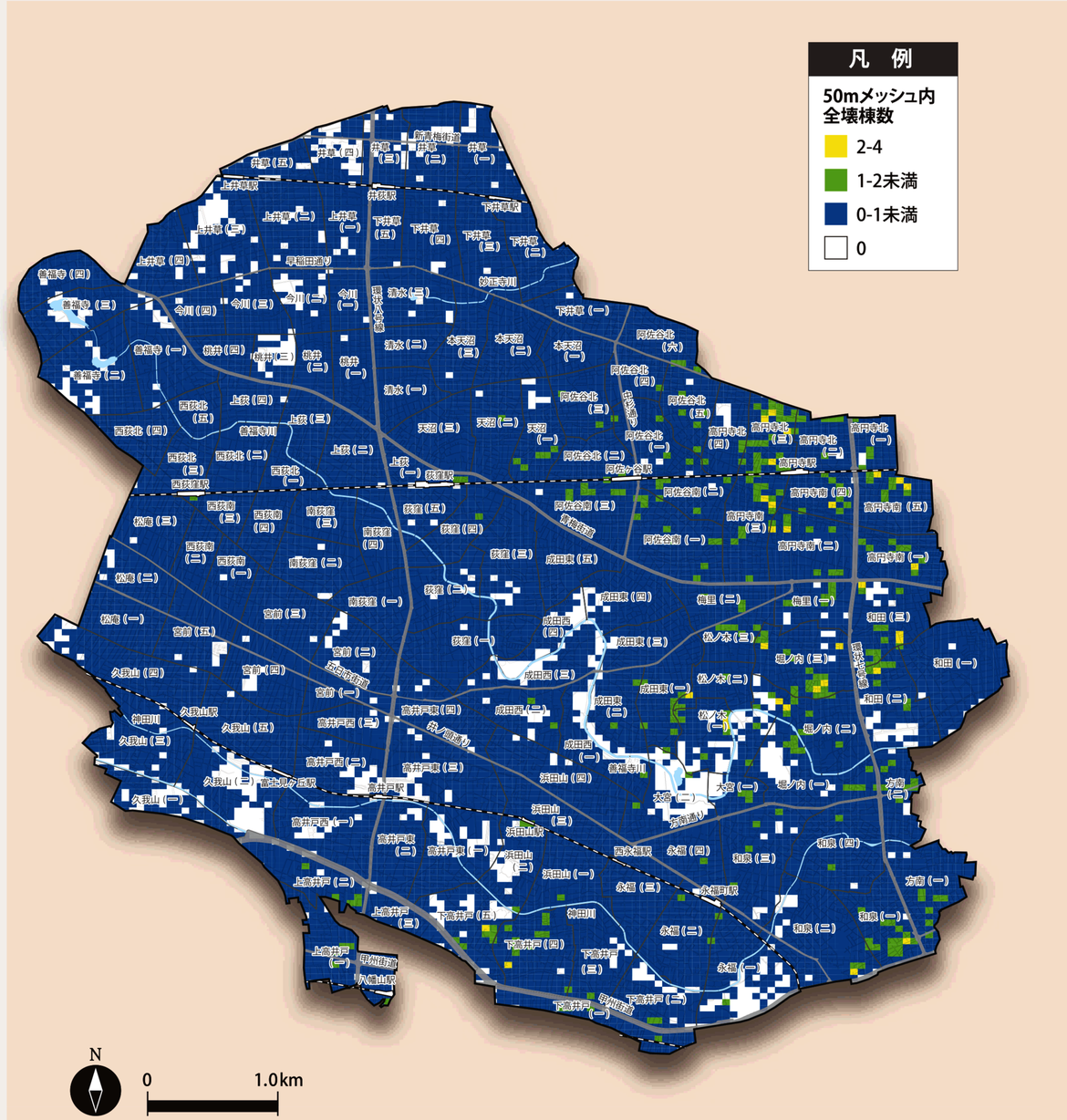
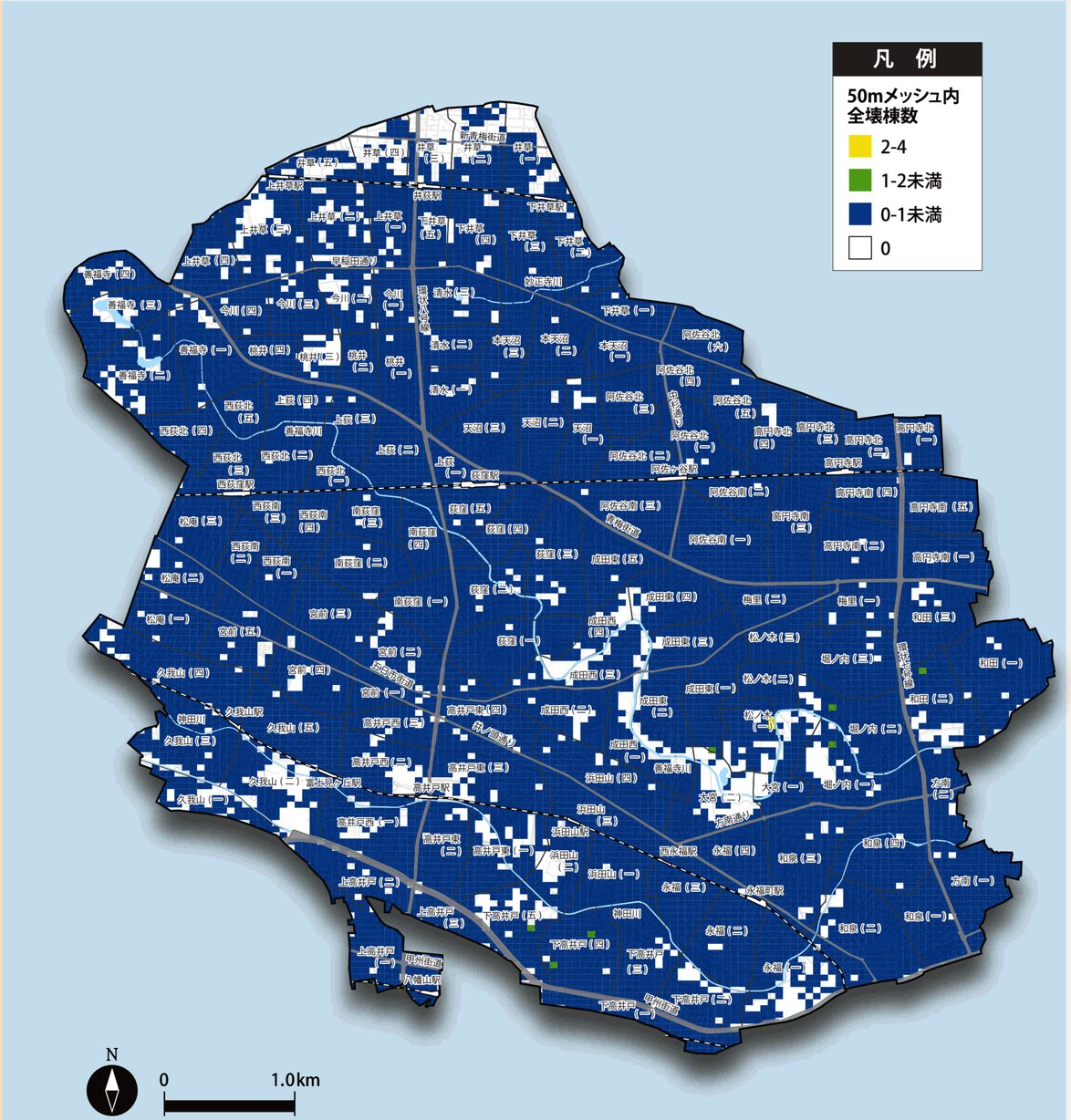
1 全壊

現況の被害想定



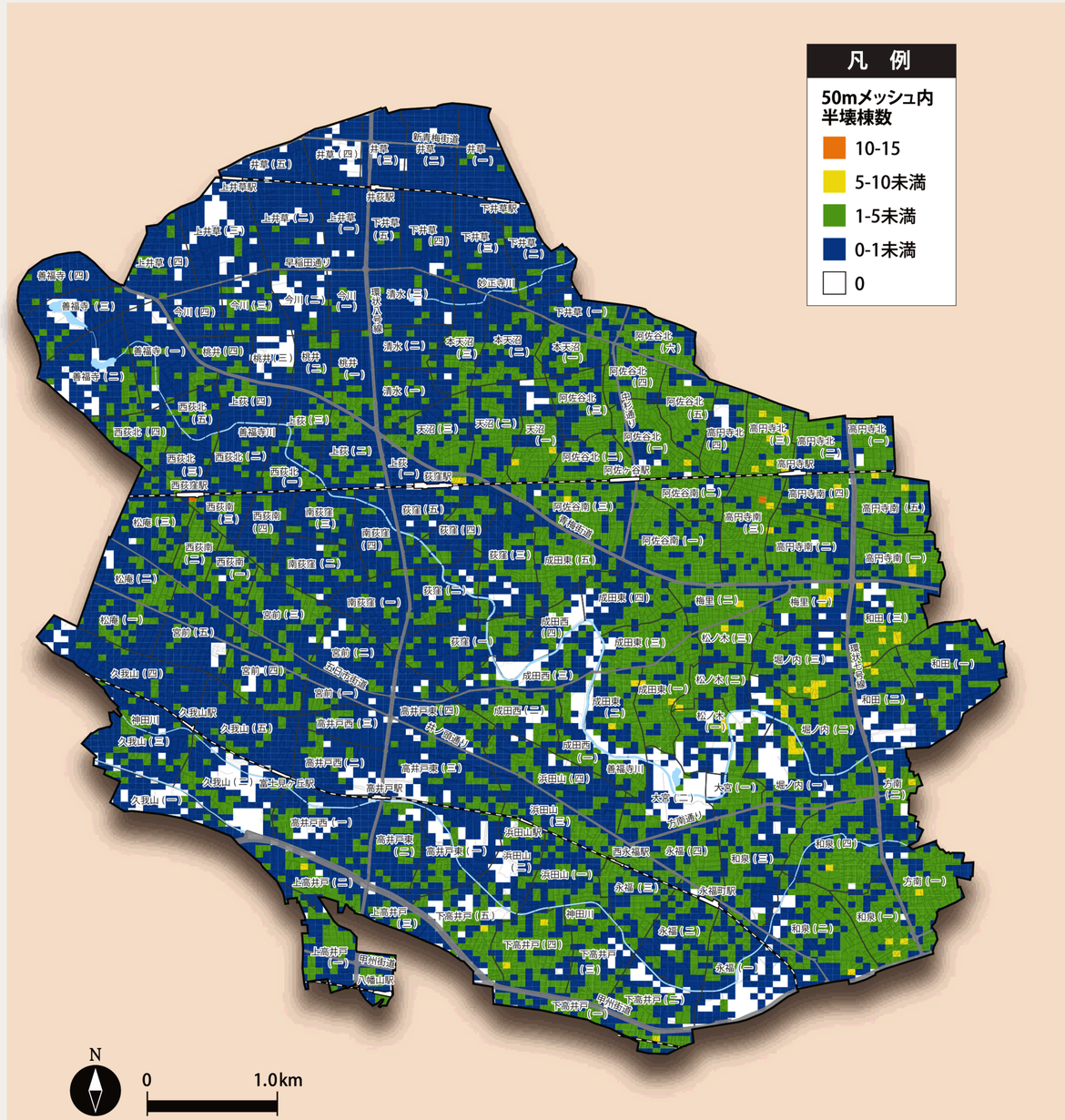
減災対策後の被害想定



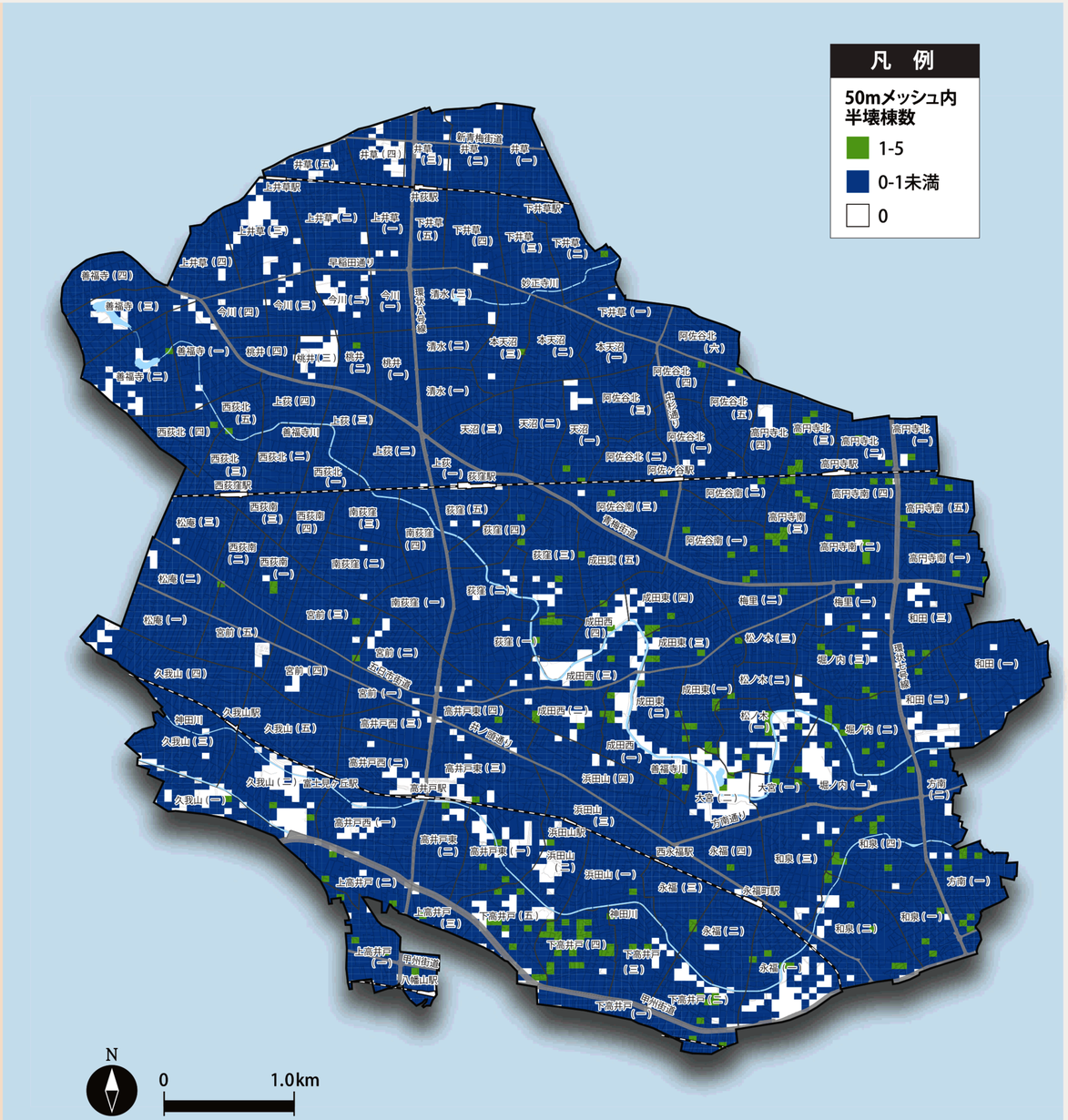
全壊棟数 ▶ 2,523棟 ▶ 減災対策が ▶ 進むと・・・ ▶ 447棟 ▶ 82%減

2 半壊

現況の被害想定



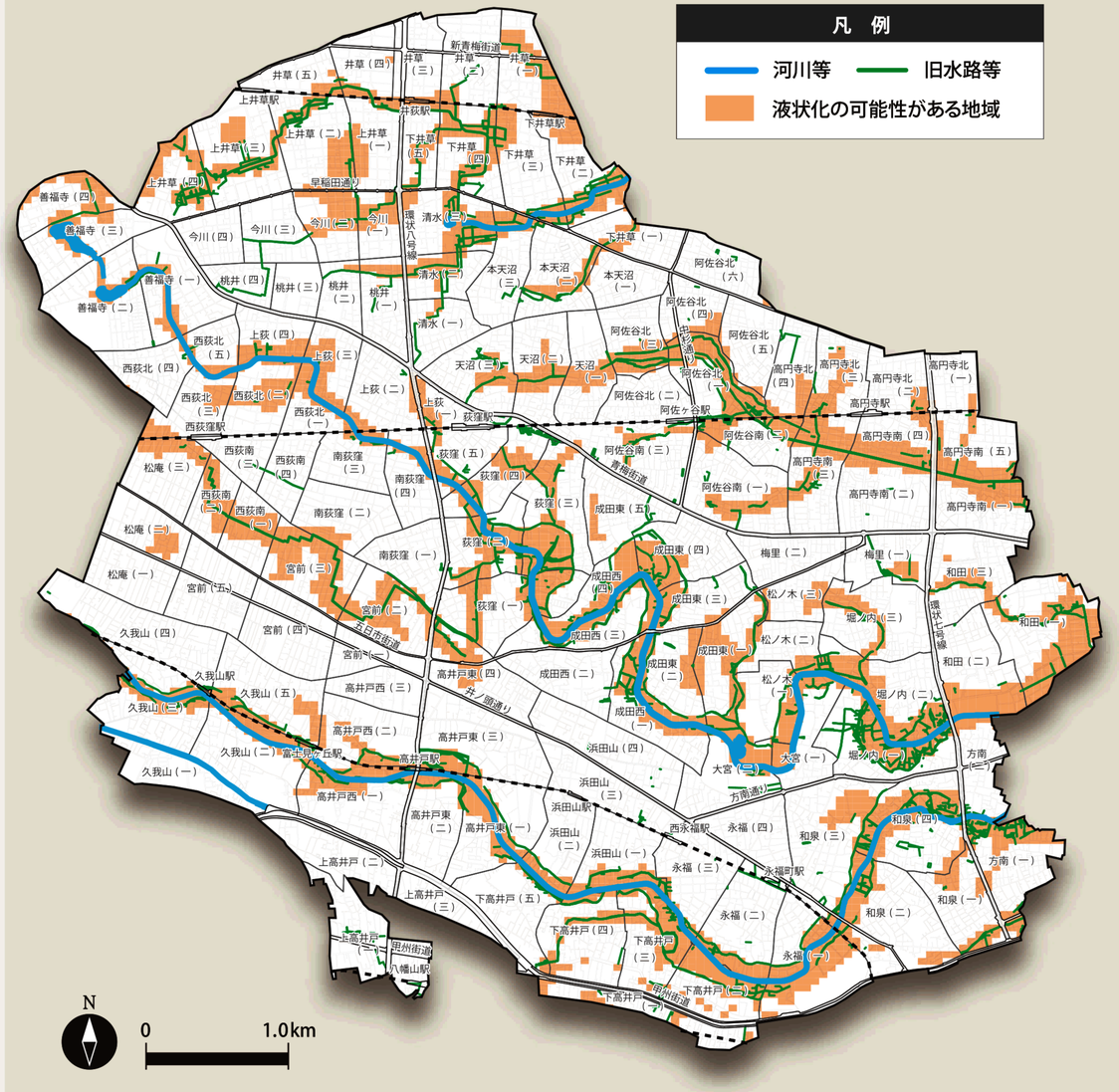
減災対策後の被害想定



半壊棟数 12,084棟 減災対策が 進むと・・・ 2,503棟 79%減

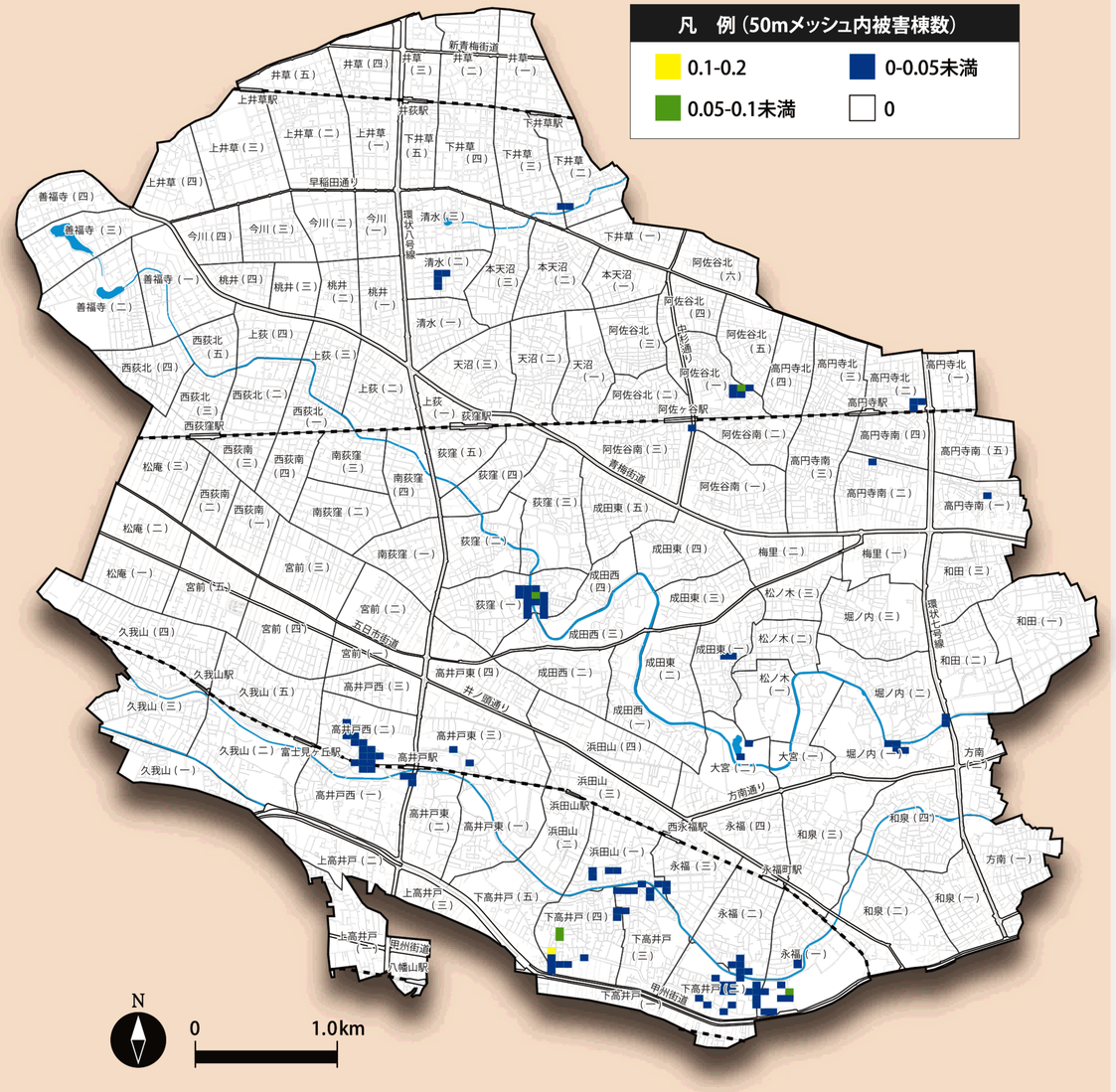
3 液状化

液状化の可能性がある地域



大規模地震が発生した場合に、区内の河川沿い及び旧水路等沿いの凹地や盛土・埋立地など（上記図の　　地域）では、液状化する可能性があります。

液状化による被害想定



左図の液状化の可能性がある地域のうち、今回の想定地震（東京湾北部地震）が発生した場合に、液状化による建物被害が想定される箇所は上の図のとおりです。

被害想定箇所の地表の推定沈下量は、概ね5㎝未満と小さいため、建物被害は、1メッシュあたり0.2棟未満、それら全メッシュの合計は約2棟で、極めて少ないことが想定されます。